

系統分析実験

令和7年6月9日（月）

6月5日（木）に、3年次生理系クラスで『金属イオンの系統分析』の実験を行いました。この実験は、鉄（Fe）と銅（Cu）の性質を確かめるものです。鉄では、ヘキサシアニド鉄（Ⅱ）カリウム水溶液やヘキサシアニド鉄（Ⅲ）カリウム水溶液を加えて生じる沈殿の色の違いを自分の目で確かめて、鉄（Ⅱ）イオンと鉄（Ⅲ）イオンの性質の違いをまとめました。銅では、アンモニアを過剰に加えることで沈殿が溶けて、深い青色の水溶液になることを確認しました。加える物質によって、様々な色の沈殿が生じることに生徒からは驚きの声が上がっていました。教科書に載っている事象をただ覚えるだけでなく、実験によって確かめることで、化学をより身近に感じることができました。



【生徒の声】

- ・覚えることが多い分野だけれど、実験をしたらイメージをすることができました。
- ・無色になることを確認するのが難しかった。
- ・自分の目で確かめるということが大切だと思います。
- ・謎多き、『錯イオン』を身近に感じました。
- ・鉄も銅も身近なところで使われているがそのイオンの性質がこんなに複雑だとは！とても驚きでした。

